

## こころの自殺予防教育（兵庫県神戸市）

## 【概要】

神戸市ではこども（10代）の自殺者は減少せず、直近20年間横ばい（2019年は10人）で推移している。市立中学校において、こどもたちにストレスとの上手な付き合い方やこころのSOSの出し方を伝える自殺予防教育を2019年度より実施し、アンケート調査を行ったところ短期での効果測定ではあるが効果が確認された。

公開授業チーム（スクールカウンセラー経験者）による教職員研修及び生徒へのモデル授業を展開し、こどもたちにストレスとの付き合い方やSOSの出し方などを伝える。また、当該授業の必要性および手法について市立中学校教職員に理解してもらい、モデル授業終了後は各中学校において毎年自校教職員が授業を実施できるようにする。

## 【大綱の分類】

2. 国民一人ひとりの気づきと見守りを促す
4. 自殺対策に係る人材の確保、養成及び資質の向上を図る
11. 子ども・若者の自殺対策を更に推進する

## 【政策パッケージ分類】

- 基本2 (3) 学校教育・社会教育に関わる人への研修
- 基本5 (1) SOSの出し方に関する教育の実施
- 重点1 (2) 若者の抱えやすい課題に着目した学生・生徒等への支援の充実
- 重点1 (5) 若者自身が身近な相談者になるための取組

【事業実施年度】2019年度

【事業予算】2,019,000円

## 【利点】

- ▼こども達がストレスとの上手な付き合い方、こころのSOSの出し方、周りで悩んでいる人との関わり方を学び、実践できる。
- ▼教職員研修及び生徒への授業を通して、教職員が自殺対策の重要性を認識する機会となる。

## 【実施に至るまで】

## 中学生を対象とする理由

- ①若年層の死因に占める自殺の割合が高く、高校生の自殺者数が多い。高校進学前の思春期で情緒が不安定な中学2年生に対しSOSの出し方、SOSの受け止め方を伝える。
- ②自殺予防教育について教職員、支援関係者、保護者などが認識、理解することで、相互支援の意識啓発を図ることができる。

## 計画を立てる上での工夫

- ①精神保健福祉センターと教育委員会の共催とし、保健福祉分野と教育分野における双方の専門性を活かした事業展開ができるようにした。
- ②生徒へのモデル授業は原則公開とし、他校の教職員、保護者、支援機関も見学できるようにすることで多くの関係者に広まるようにした。
- ③授業の事前に教職員研修を開催することで教職員の意識啓発や学校内の合意形成を図り、授業に対する不安感を払拭できるようにした。
- ④ハイリスク生徒等について情報共有を図るため、授業者と中学校とで授業の事前打ち合わせを行った。

### 事業の具体的な内容（取組）

#### ▼モデル授業実施校公募

#### ▼授業チームと事務局による実務者会議で授業内容等の検討

#### ▼実施校全教職員に対し研修を実施（1時間）

- ・当日の研修開始までにアンケートの記入内容を確認し、授業実施に対する教職員の意識確認を行う。
- ・自殺の動向、生徒に対する授業内容の概要を説明する。
- ・生徒が授業で行うロールプレイを教職員も体験する。
- ・研修後、2年生の教職員とハイリスク生徒等について情報共有を図る。
- ・研修後もアンケートを実施。

#### ▼公開授業「いのちとこころの学習（つらいとき 大切なのは伝えること）」を実施

- ・当日の授業開始前までにアンケートの記入内容を確認し、援助希求行動等に対する生徒の意識確認を行う。
- ・原則、2年生全員での一斉授業。2コマ。  
会場の問題などで一斉授業が困難な場合は、例外として分割授業も可能。
- ・リストカットなど、希死念慮等のあるハイリスク生徒への配慮として、できる限り実施校の教職員を配置する。
- ・授業後もアンケートを実施。
- ・授業後、2年生の教職員と振り返りを行うとともに、ハイリスク生徒の事後対応について検討する。

### 【成 果】

▼2020.4～2021.3 の間に5校実施

▼授業を受けた生徒数 約1,000人

▼教職員研修では、受講前より受講後に「授業を実施することへの不安が軽減した」との回答が多かった。

▼生徒への授業では、授業前より授業後に援助希求行動等への理解が向上していることがわかった。

### 【補 足】

▼特になし

### 【課 題】

▼コロナ禍における感染対策、授業方法の見直し、授業計画の組み入れで困難を極めた。

▼「寝た子を起こす」との教職員の意見から、授業実施を躊躇する学校がある。

【事業種別】	研修実施（中学校教職員、生徒対象）
【準備期間】	1年
【人 数】	22人
【人口規模】	1,522,000人
【財政規模】	440,000,000,000円
【自治体負担率】	0%
【事業対象】	市立中学校
【支援対象】	市立中学校教職員、生徒
【委託の有無】	無し
【実施主体・問合せ先】	神戸市健康局保健所精神保健福祉センター TEL: 078 (371) 1900 Mail: kobekoronokenkouc@office.city.kobe.lg.jp

### 【参考資料・文献】

1. リーフレット「第2期神戸いのち大切プラン」「知っておきたい こころの健康」